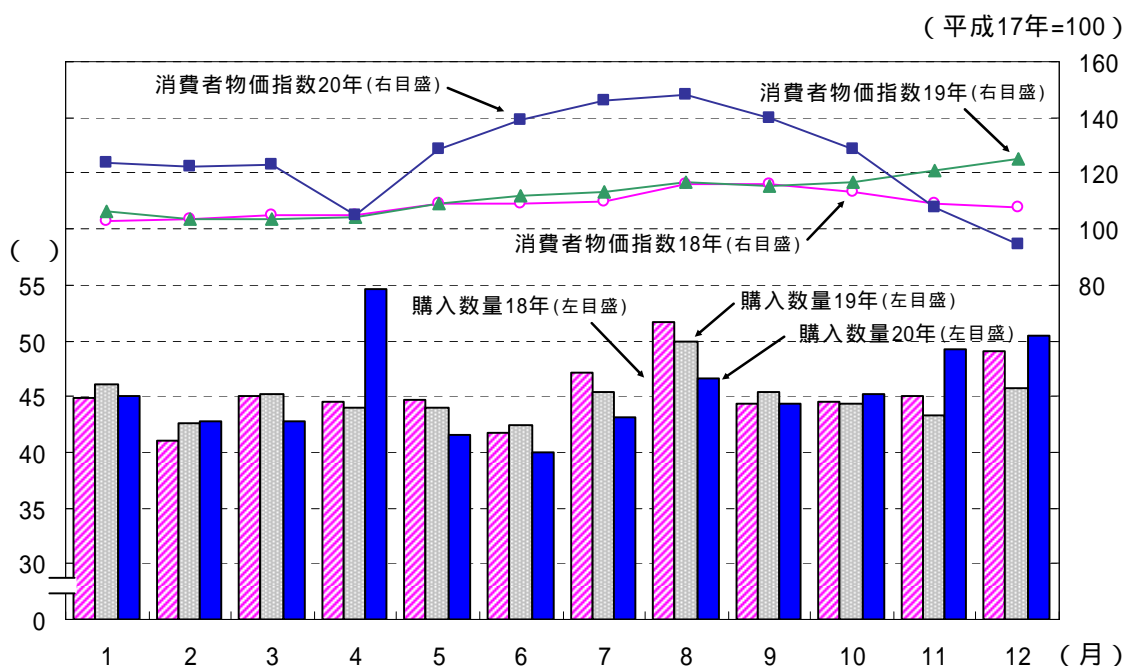


平成 21 年 1 月 30 日
総 務 省 統 計 局

原油関連品目の購入数量及び消費者物価指数の推移

1 ガソリン

平成 20 年 12 月は、価格が前月より低下したこともあり、購入数量は前年同月に比べ 3 か月連続の増加となっている。



購入数量()

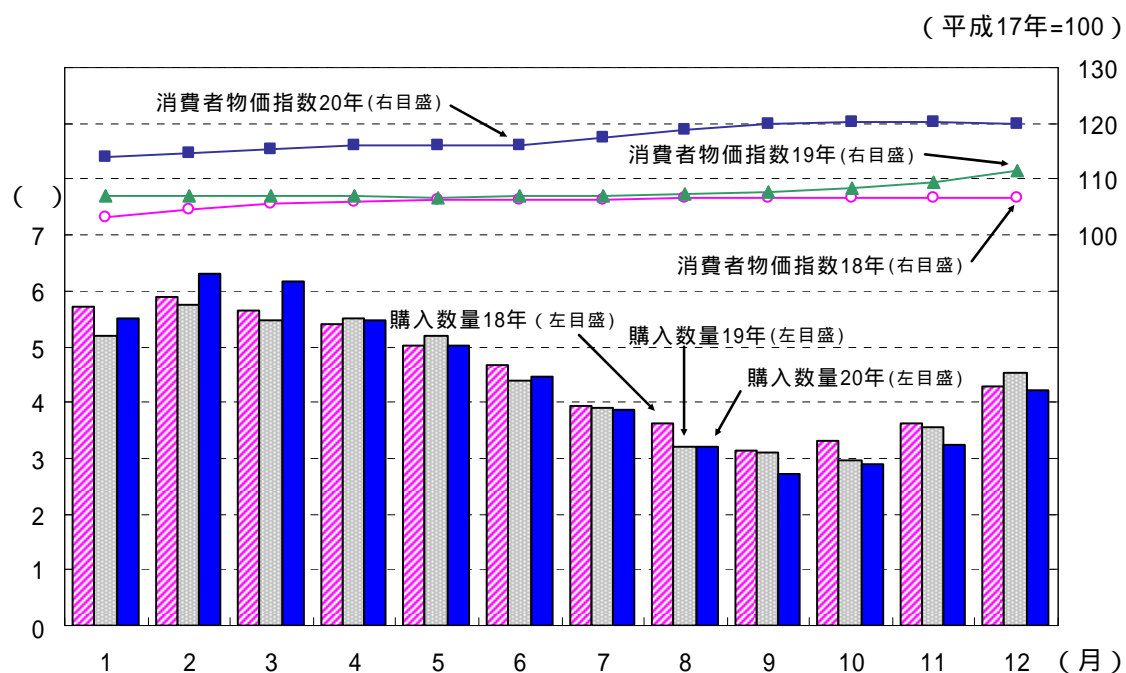
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成18年	44.909	40.958	45.059	44.486	44.626	41.730	47.081	51.613	44.282	44.520	45.108	48.961
平成19年	46.011	42.670	45.243	43.922	44.046	42.395	45.440	49.923	45.459	44.395	43.253	45.785
平成20年	44.956	42.820	42.751	54.552	41.588	40.050	43.086	46.648	44.349	45.296	49.182	50.436

消費者物価指数(平成17年=100)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成18年	102.9	103.7	104.6	104.8	109.2	109.2	110.0	115.9	115.9	113.2	109.2	107.6
平成19年	106.5	103.4	103.3	104.5	109.0	111.8	113.6	117.0	115.7	116.6	121.0	125.2
平成20年	123.6	122.2	122.9	105.2	128.6	138.9	146.2	147.9	139.6	128.5	108.0	94.2

2 プロパンガス

平成 20 年 12 月は、価格が前年同月より高い水準で推移していることもあり、購入数量は前年同月に比べ 6 か月連続の減少となっている。



購入数量 ()

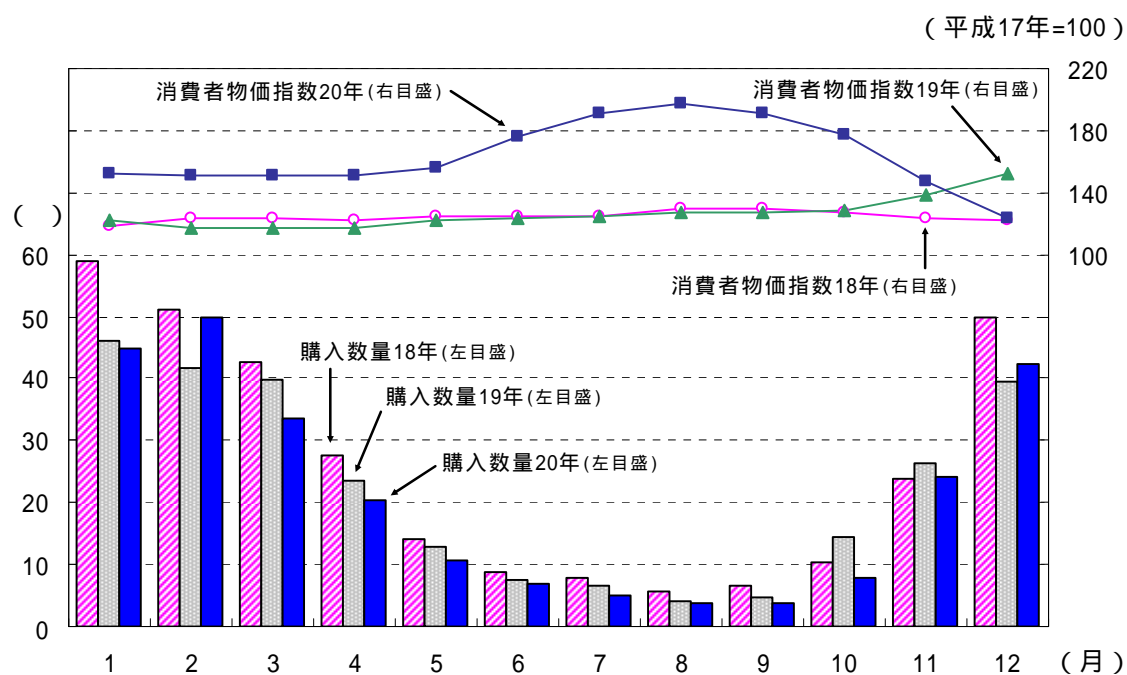
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成18年	5.724	5.878	5.631	5.416	5.001	4.668	3.944	3.624	3.137	3.301	3.611	4.279
平成19年	5.205	5.751	5.474	5.501	5.205	4.381	3.908	3.206	3.100	2.974	3.566	4.525
平成20年	5.498	6.292	6.150	5.463	5.015	4.455	3.871	3.201	2.713	2.883	3.228	4.214

消費者物価指数 (平成17年=100)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成18年	103.1	104.4	105.6	106.0	106.4	106.4	106.4	106.5	106.6	106.8	106.8	106.8
平成19年	106.9	106.9	106.9	106.9	106.8	106.9	107.0	107.4	107.7	108.3	109.4	111.4
平成20年	113.8	114.8	115.3	115.9	116.0	116.2	117.3	119.0	119.9	120.2	120.2	119.9

3 灯油

平成 20 年 12 月は、価格が前月より低下したこともあり、購入数量は前年同月に比べ 10 か月ぶりの増加となっている。



購入数量()

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成 18 年	58.861	51.010	42.681	27.518	14.037	8.831	7.951	5.763	6.714	10.303	23.677	50.008
平成 19 年	46.021	41.839	39.729	23.508	12.742	7.481	6.455	4.144	4.848	14.364	26.443	39.445
平成 20 年	44.687	49.882	33.401	20.246	10.812	6.939	5.132	3.782	3.644	7.801	24.053	42.213

消費者物価指数(平成17年=100)

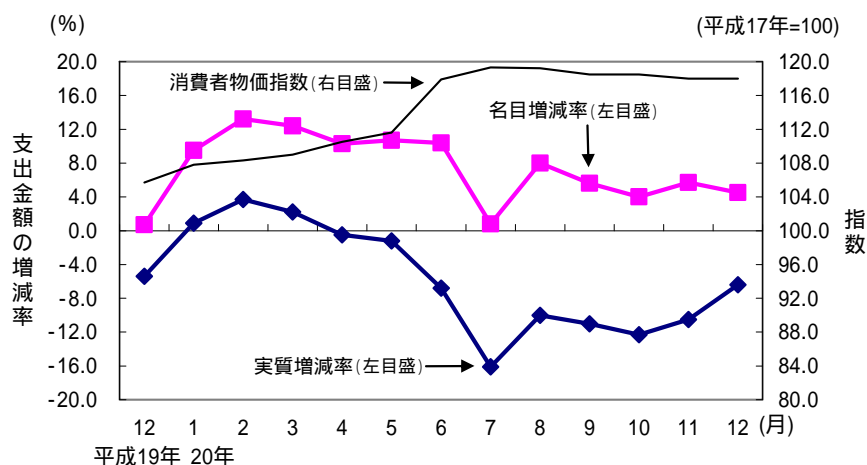
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成 18 年	118.2	123.9	122.8	122.0	124.7	125.1	125.1	129.6	130.1	127.8	123.7	122.4
平成 19 年	121.8	117.7	116.8	117.4	122.2	123.6	124.8	127.5	127.3	128.3	138.4	151.8
平成 20 年	152.1	150.7	150.9	150.9	155.9	175.7	191.2	197.3	191.3	177.8	146.8	123.5

平成 21 年 1 月 30 日
総務省統計局

価格が上昇した主な品目の対前年同月増減率の推移

食パン

平成 20 年 12 月は、前月より減少幅は縮小したものの、9 か月連続の実質減少となっている。

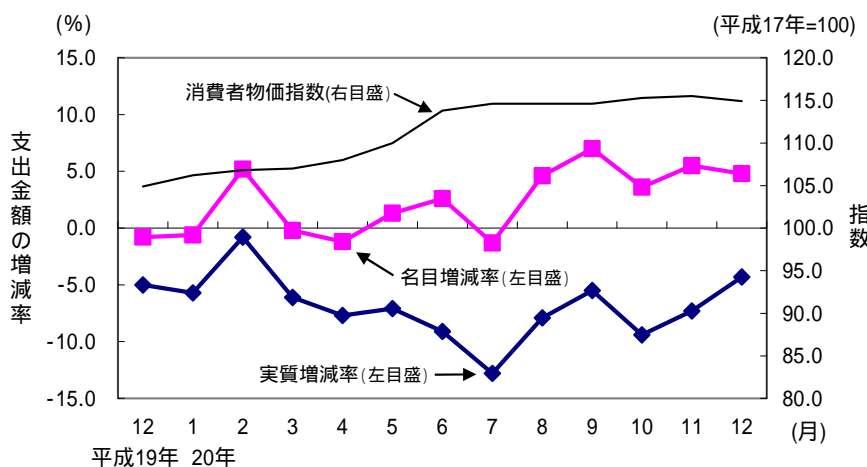


	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率(%)	0.7	9.5	13.2	12.4	10.3	10.7	10.4	0.8	8.0	5.6	4.0	5.7	4.5
実質増減率(%)	-5.4	0.9	3.7	2.2	-0.5	-1.2	-6.8	-16.1	-10.0	-11.0	-12.3	-10.5	-6.4
消費者物価指数	105.7	107.8	108.3	109.0	110.5	111.6	117.9	119.3	119.2	118.5	118.5	118.0	118.0

(注) 食パンの増減率の実質化には、消費者物価指数(食パン)を用いた。

他のパン

平成 20 年 12 月は、前月より減少幅は縮小したものの、13 か月連続の実質減少となっている。



	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率(%)	-0.8	-0.6	5.2	-0.2	-1.2	1.3	2.6	-1.3	4.6	7.0	3.6	5.5	4.8
実質増減率(%)	-5.0	-5.7	-0.8	-6.1	-7.7	-7.1	-9.1	-12.8	-7.9	-5.5	-9.4	-7.3	-4.3
消費者物価指数	104.9	106.2	106.8	107.0	108.0	110.0	113.8	114.6	114.6	114.6	115.3	115.5	114.9

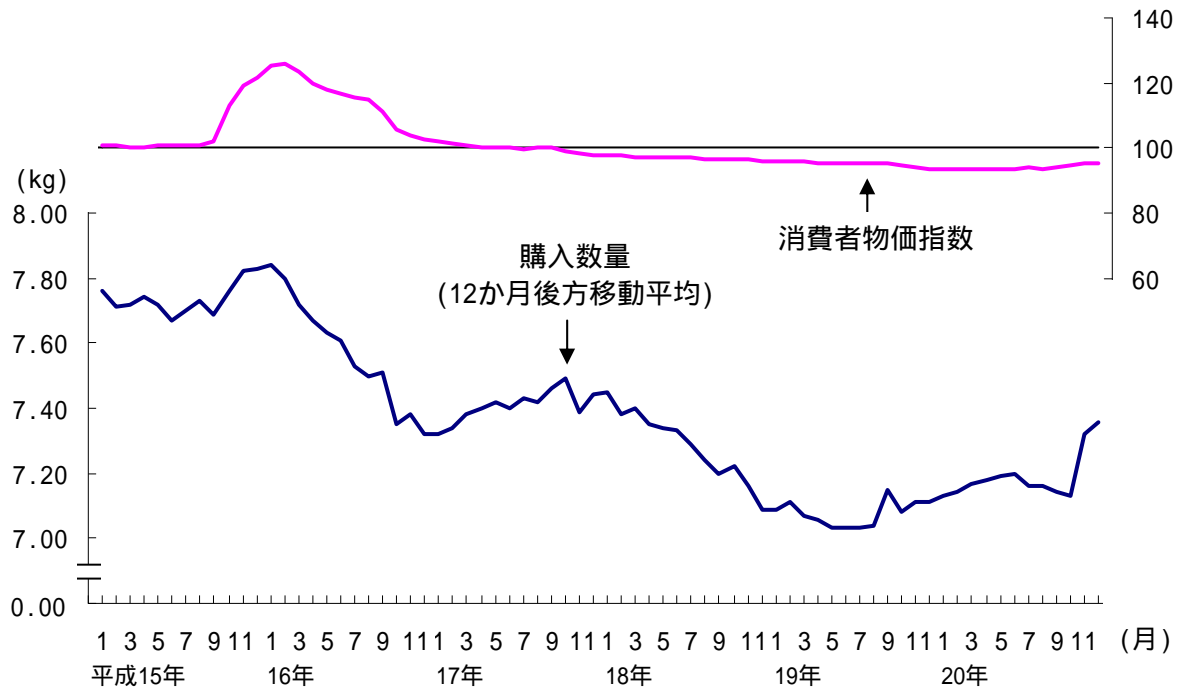
(注) 他のパンの増減率の実質化には、消費者物価指数(あんパン及びカレーパン)を用いた。

<参考1>

1 米

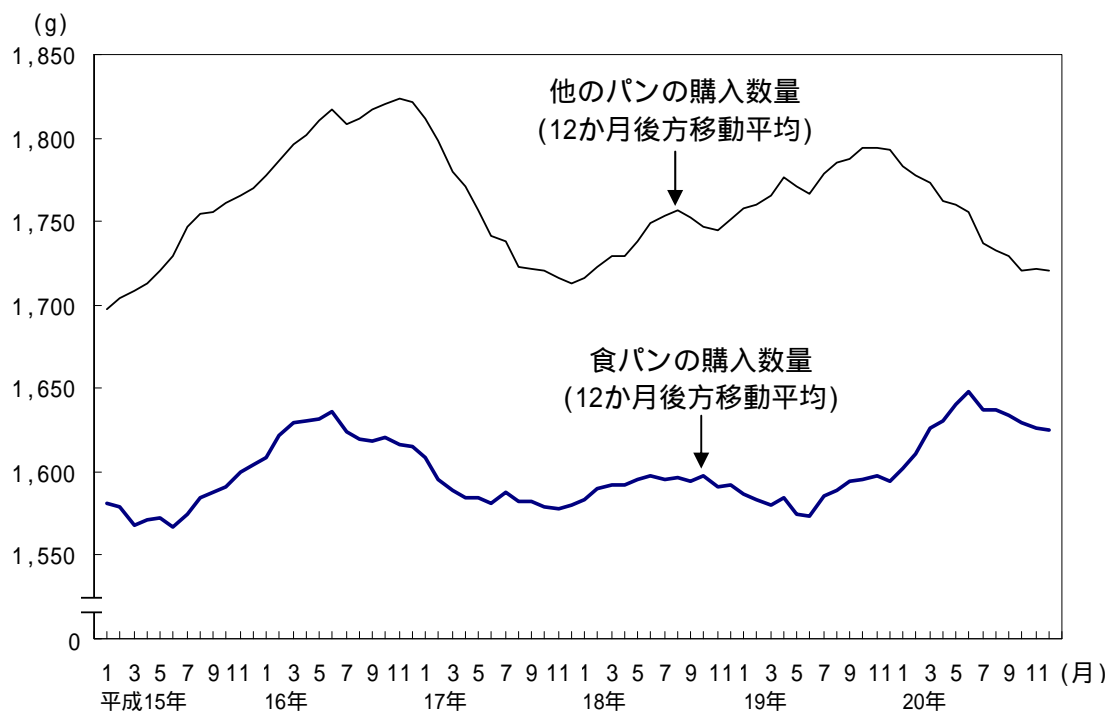
米の購入数量は、平成 20 年 7 月以降減少したものの、20 年 11 月以降増加している。

(平成17年=100)



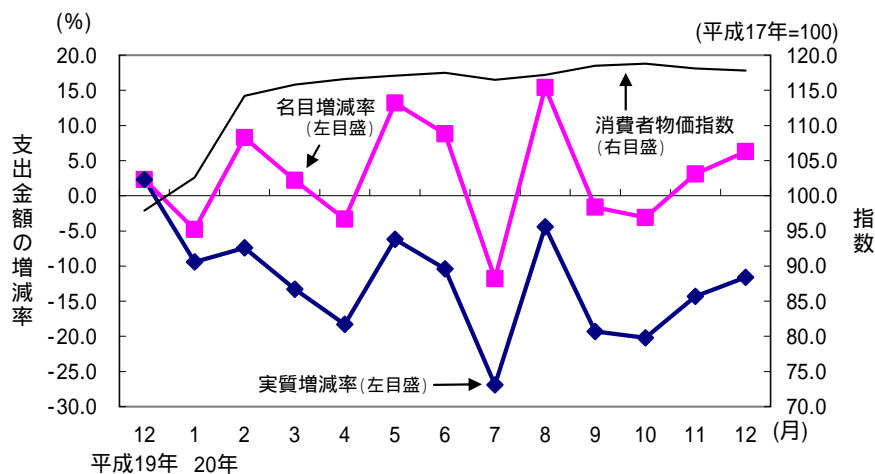
2 食パン及び他のパン

他のパンの購入数量は、平成 19 年 12 月以降減少傾向にある。また、食パンの購入数量は、平成 19 年 7 月以降増加傾向にあったが、20 年 7 月以降減少している。



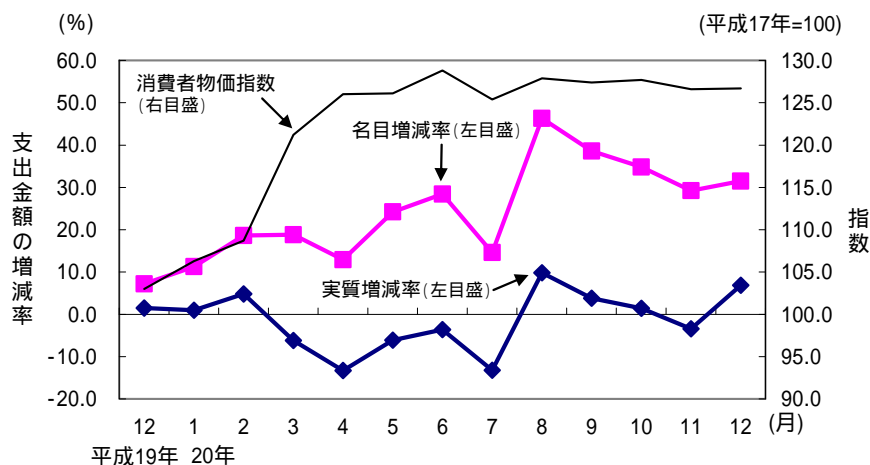
カップめん

平成 20 年 12 月は、前月より減少幅は縮小したものの、12 か月連続の実質減少と
なっている。



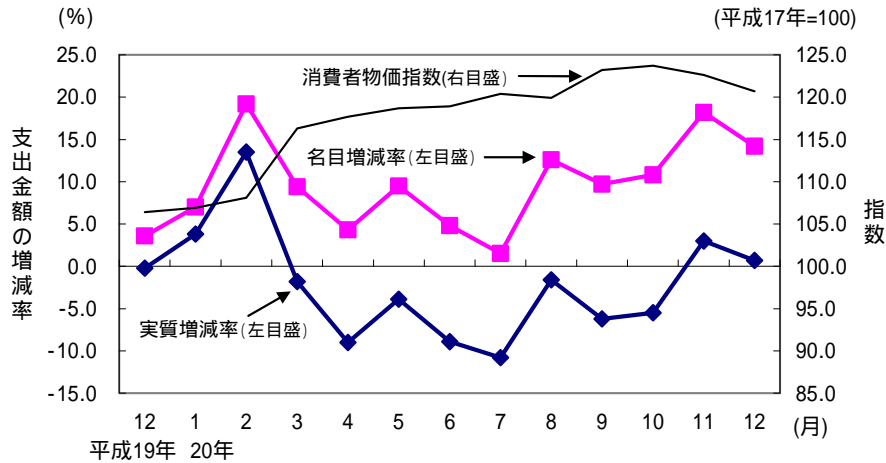
スパゲッティ

平成 20 年 12 月は、実質減少から増加に転じ、2 か月ぶりの実質増加となっている。



チーズ

平成20年12月は、前月より増加幅が縮小したものの、2か月連続の実質増加となっている。

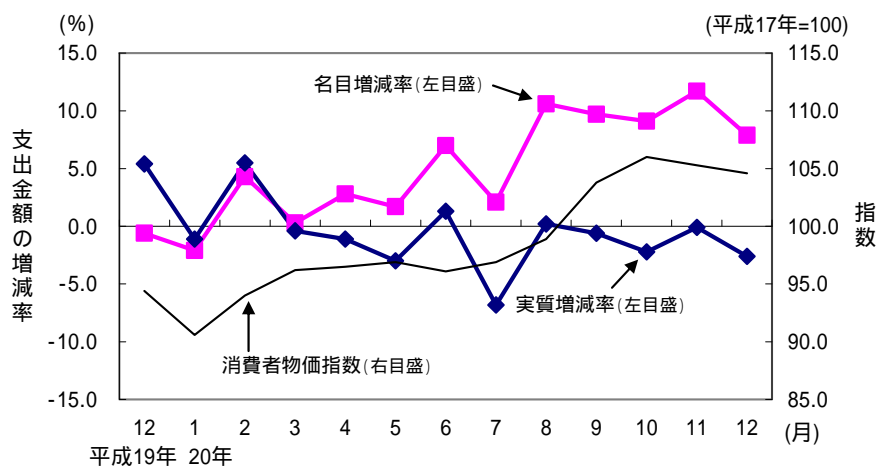


	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率(%)	3.6	7.0	19.2	9.4	4.3	9.5	4.8	1.5	12.6	9.7	10.8	18.2	14.2
実質増減率(%)	-0.2	3.8	13.5	-1.8	-9.0	-3.9	-8.9	-10.8	-1.6	-6.2	-5.5	3.0	0.7
消費者物価指数	106.4	106.9	108.1	116.3	117.7	118.7	118.9	120.4	119.9	123.2	123.7	122.6	120.7

(注) チーズの増減率の実質化には、消費者物価指数(チーズ及びチーズ(輸入品))を用いた。

卵

平成20年12月は、前月より減少幅が拡大し、4か月連続の実質減少となっている。

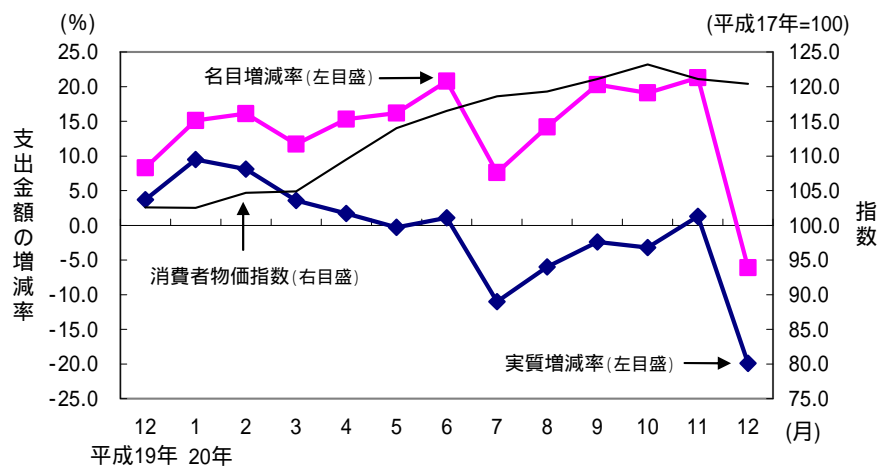


	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率(%)	-0.6	-2.1	4.3	0.3	2.8	1.7	7.0	2.1	10.6	9.7	9.1	11.7	7.9
実質増減率(%)	5.4	-1.1	5.5	-0.4	-1.1	-3.0	1.3	-6.8	0.2	-0.6	-2.2	-0.1	-2.6
消費者物価指数	94.4	90.6	94.0	96.2	96.5	96.9	96.1	96.9	98.9	103.8	106.0	105.3	104.6

(注) 卵の増減率の実質化には、消費者物価指数(卵)を用いた。

食用油

平成20年12月は、価格が前月より低下したものの、大幅な実質減少となっている。



	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率 (%)	8.3	15.1	16.1	11.7	15.3	16.2	20.8	7.6	14.2	20.3	19.1	21.3	-6.1
実質増減率 (%)	3.7	9.5	8.1	3.6	1.7	-0.3	1.1	-11.0	-6.0	-2.4	-3.2	1.3	-19.9
消費者物価指数	102.6	102.5	104.7	104.9	109.5	114.0	116.5	118.6	119.3	121.1	123.2	121.1	120.4

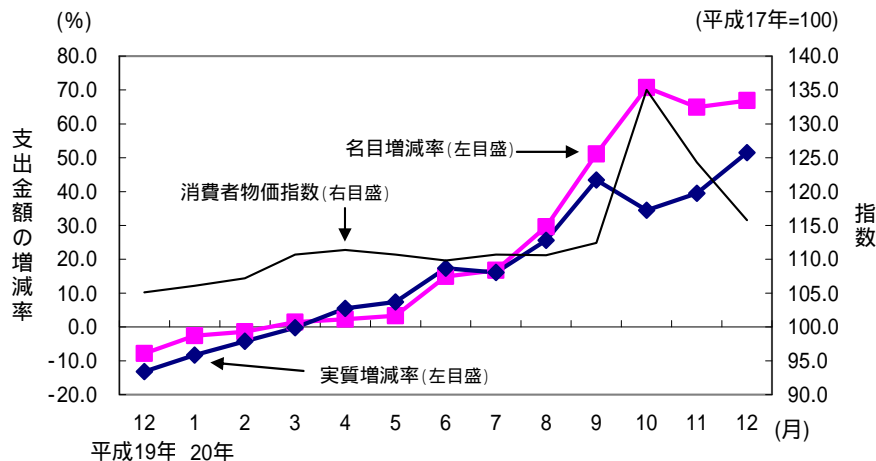
(注) 食用油の増減率の実質化には、消費者物価指数(食用油)を用いた。

<参考2>

バナナ

(1) 対前年同月増減率及び消費者物価指数の推移

平成20年12月は、価格が前月より低下したことなどから、9か月連続の実質増加となっている。

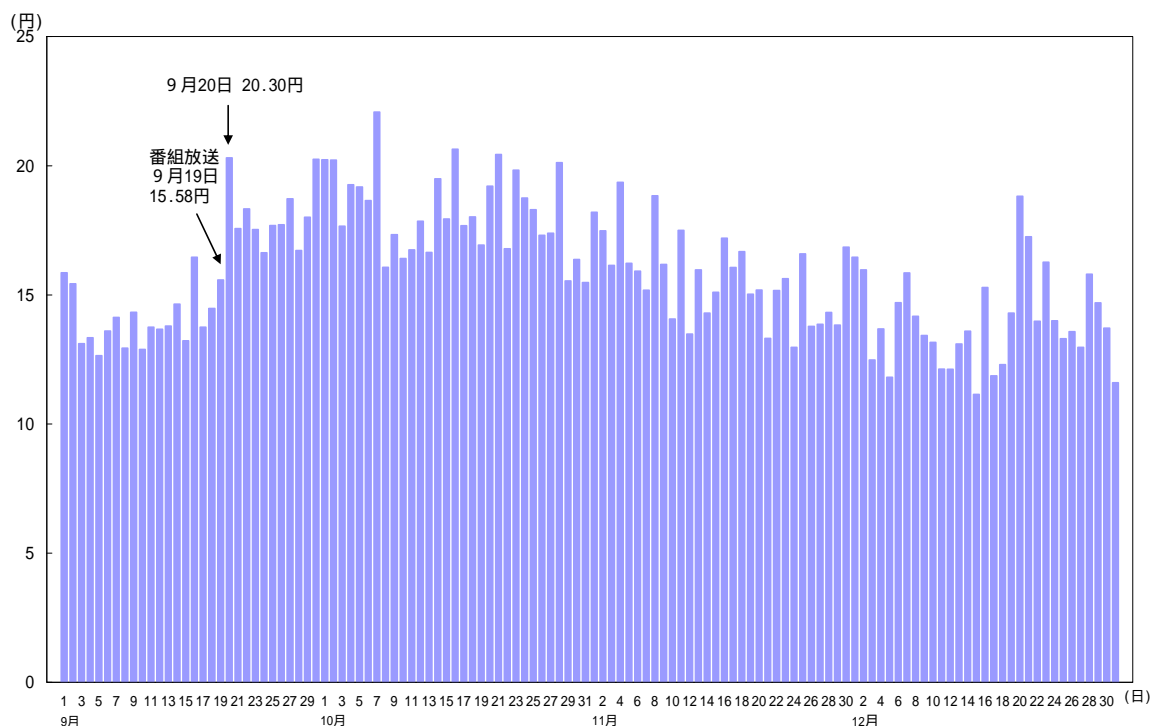


	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目増減率(%)	-7.8	-2.6	-1.4	1.4	2.3	3.3	14.9	16.7	29.6	51.1	70.7	64.9	66.9
実質増減率(%)	-13.2	-8.3	-4.2	-0.2	5.5	7.4	17.4	16.1	25.6	43.4	34.5	39.5	51.5
消費者物価指数	105.1	106.1	107.2	110.7	111.4	110.7	109.8	110.7	110.6	112.4	135.0	124.3	115.8

(注) バナナの増減率の実質化には、消費者物価指数(バナナ)を用いた。

(2) 平成20年9月から12月の日別名目支出金額の推移

バナナに関するテレビ番組の放送があった平成20年9月19日は15.58円であったが、翌日には20.30円に増加した。10月も番組放送以前に比べて引き続き高い水準で推移したものの、11月及び12月は10月に比べ低い水準で推移している。

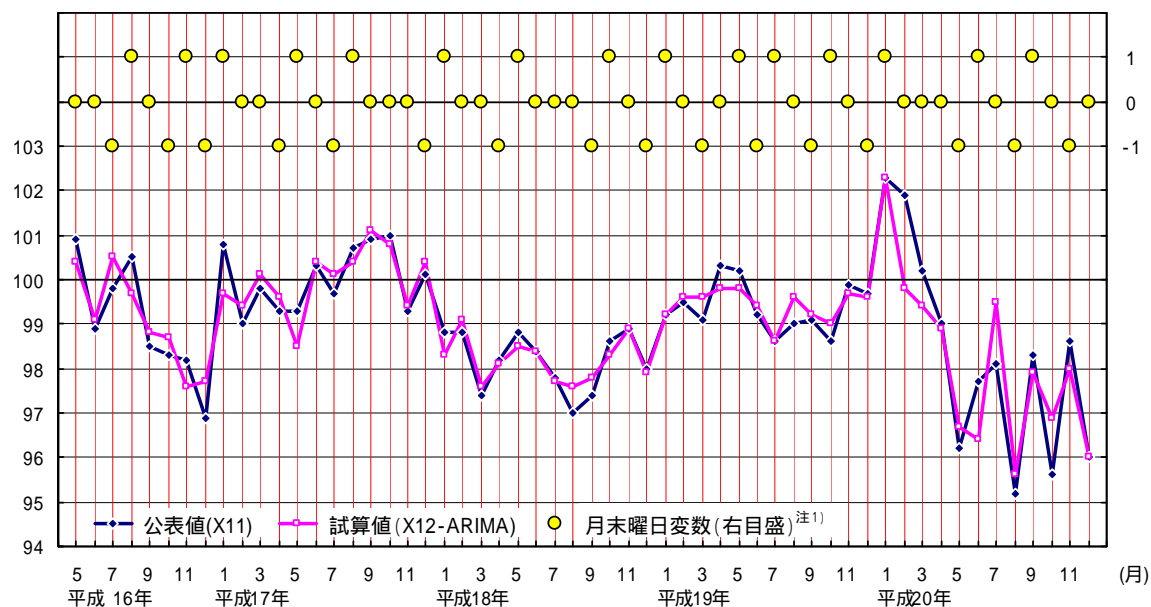


平成 21 年 1 月 30 日
総務省統計局

月末の曜日などの変動の要因を含めた季節調整値

図表1 消費支出(除く住居等)(季節調整済実質指数)

(平成17年 = 100)



	平成 19年	20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
公表値 ^{注2)}	99.7	102.3	101.9	100.2	99.0	96.2	97.7	98.0	95.2	98.3	95.6	98.6	96.0
対前月変化率(%)	-0.2	2.6	-0.4	-1.7	-1.2	-2.8	1.6	0.3	-2.9	3.3	-2.7	3.1	-2.6
試算値 ^{注3)}	99.6	102.3	99.8	99.4	98.9	96.7	96.4	99.5	95.6	97.9	96.9	98.0	96.0
対前月変化率(%)	-0.1	2.7	-2.4	-0.4	-0.5	-2.2	-0.3	3.2	-3.9	2.4	-1.0	1.1	-2.0

注1) 月末の曜日を回帰変数として以下のとおり指定しました。

-1 月末に金融機関が休み(土・日曜日, その他の休日)で翌月口座引落としとなる月

1 前月の月末に金融機関が休みで今月の口座引落としとなる月

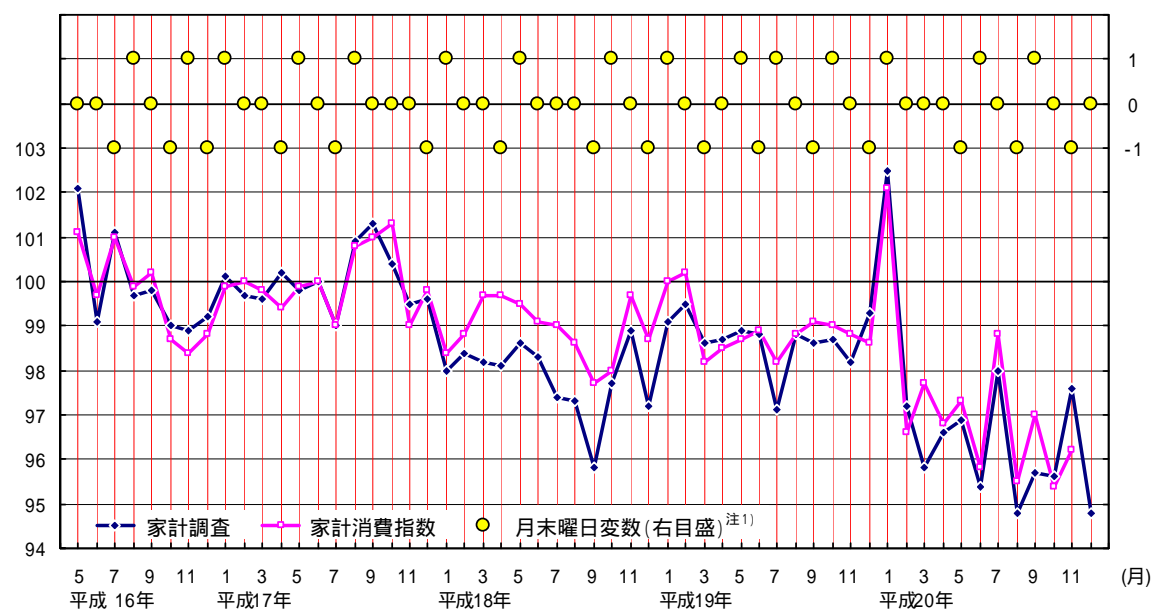
0 月末の曜日の影響がない,あるいは前月今月ともに口座引落としが翌月となる月

注2) 季節調整の方法は, センサス局法(X12-ARIMA のX11 デフォルト, 管理限界2 ~ 3)を用いています。季節指数(季節調整値 = 原数値 / 季節指数)の推定に使用したデータの期間は平成12年1月~19年12月で, 20年1月以降は, 予測(延長)季節指数を使用しています。

注3) 季節調整の方法は, センサス局法(X12-ARIMA Ver.0.3, 詳細は「家計調査の結果を見る際のポイントNo. 11」(参考1)試算に用いたスペックファイルを参照してください)を用いており, うるう年(4年周期), 月末の曜日(28年周期), 曜日(7日周期)などの変動の要因を含めています。推定の期間は平成12年1月~19年12月で, 20年1月以降は, 予測(延長)季節指数を使用しています。

図表2 家計調査及び家計消費指数^{注4)}の消費支出(季節調整済実質指数(試算値))

(平成17年 = 100)



	平成 19年	20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
家計調査 ^{注3)}	99.3	102.5	97.2	95.8	96.6	96.9	95.4	98.0	94.8	95.7	95.6	97.6	94.8
対前月変化率(%)	1.1	3.2	-5.2	-1.4	0.8	0.3	-1.5	2.7	-3.3	0.9	-0.1	2.1	-2.9
家計消費指数	98.6	102.1	96.6	97.7	96.8	97.3	95.8	98.8	95.5	97.0	95.4	96.2	-
対前月変化率(%)	-0.2	3.5	-5.4	1.1	-0.9	0.5	-1.5	3.1	-3.3	1.6	-1.6	0.8	-

注4) 家計消費指数は、家計調査結果のうち毎月の購入頻度が少なく結果が安定しにくい高額消費部分を、家計消費状況調査の結果で補完した結果を指数化したもので、これにより家計消費の動向をより安定的に把握することを目的としています。

なお、家計消費指数は、家計調査よりも後に公表する家計消費状況調査の結果を使用するため、家計調査の月分の結果を公表する時点(原則調査月翌月末)では、前月分の結果が最新となります。

季節調整の方法は、注3による方法と同じになります。ただし、推定の期間は、平成14年1月～19年12月となります。